

THE QRP NEWS

The Official Journal of the JARL QRP CLUB vol.68

発行人

JR1QJO 矢部 伊知郎

編集人

JN3DMJ 松本 貢一



小さなパワーで大きな感動

QRP: Small Power, Big Dreams!

JARL QRP CLUB 会報 2026年3月1日発行 vol.68-07-Public

公開版（会員限定会報の一部を公開しています）

CONTENTS

※	※	※	※
【運用】進め電波老人 避寒の花見じゃの巻	JR3ELR/1	吉本 信之	2
※	※	※	※
※	※	※	※
【レポート】ネット QRP 懇親会報告	JN3DMJ	松本 貢一	6
【新入会員紹介】		(編集部)	※
【会員の近況報告】		(編集部)	※
【お知らせ】JARL QRP CLUB 役員選挙公報（役員選挙立候補者 についてのお知らせ）		選挙管理委員会	※
【お知らせ】2025年度役員会（冬）議事録（JARL QRP CLUB 個 人情報保護指針（2026年1月12日制定）を含む）		役員・監査役	※
【お知らせ】JARL QRP CLUB からのお知らせ	JN3DMJ	松本 貢一	8
【編集後記】	JN3DMJ	松本 貢一	9

※：会員限定

○プロローグ

沖縄本島北部の山原(やんばる)で1月28日から花見運用をやってきました。

○その1 JCG47001H 国頭郡国頭村楚洲(くにかみぐんくにかみそんそす)

運用場所は何時もの楚洲小学校跡です。今回は持参したワイヤーを全部つないで海拔61mの山に建つ校舎二階の窓から山原(やんばる)森(むい)の立木にひっかけて80m LWと窓枠ラジアルアンテナで局数稼ぎます(写真1)。二泊した釣果は7MHz CWで42交信、7MHz FT8で77交信、24MHz FT8で3交信でした。途中でスマホのUSBポートが何度か接触不良を起こしソフトウェアのFT8CNが警告を出してI/Oポートを閉塞したアクシデントが発生しFT8の中断が起きています。解除方法が分からず予備のスマホでその後の運用を継続しました。帰宅後交信データを吸い上げソフトウェアを完全削除したあと再実装して復活しています。



写真1 国頭郡国頭村楚洲小学校運用

○その2 JCG47001B 国頭郡大宜味村宮城島(くにかみぐんおおぎみそんみやぎじま)

大宜味村の道の駅は強烈なノイズで運用不可。近くの塩屋湾の宮城島駐車場で30mLWを展開して運用しています。30分程度の釣果は10MHz CWで6交信、14MHz CWで4交信でした(写真2)。この場所を選ぶ理由は昼飯時だったから。ここにはインターネットのコピペ屋が知らない特産品があります。塩屋湾は日本の垂下式牡蠣養殖方法を確立した宮城新昌氏が初めて養殖実験を始めた養殖業の先進地です。現在は台湾から輸入した稚魚で始めたスギの養殖が日本一の出荷量に発展し、皆さんが回転鮓屋で口にして、「琉球スギ」は大宜味村の外洋に浮かぶ生け簀で育ちます。その水揚げ港の塩屋漁港では出荷ではねた、「琉球スギ」の漬け井が曜日、時間、数量限定品でありつけるのです(写真3)。



写真2 国頭郡大宜味村宮城島運用



写真3 「琉球スギ」の漬け丼

○その3 JCG47001F 国頭郡今帰仁村(くにがみぐんなきじんそん)

ヒカンザクラ咲く今帰仁城跡(写真4)よりも標高が高く東支那海が見通せる山の北斜面に建つ平屋の貸別荘で2mH 60m LW と窓枠ラジアルで一晩運用しています。実質5時間ほどの7MHz FT8の運用で102交信に達しました(写真5)。



写真4 今帰仁城跡のヒカンザクラ



写真5 国頭郡今帰仁村運用

○その4 DVは閑古鳥

レンタカーを返却したあと那覇430DVレピーター経由で各地にCQを出してみたものの昼時は応答無。さっさとあきらめて、沖縄旅最後に向かう先は88jrの150gステーキ(写真6)でした。



写真6 沖縄運用納竿後の88ランチ

○その5 エピローグ 空の上のBCL

沖縄空の旅は片道1600km缶詰で退屈します。でも見晴の悪い筈の翼の席の窓際を確保したときはBCLで暇つぶしができます。行は高度32000ftで宮崎放送のフェードアウトで本土局は終わり。喜界島の無指向性無線標識を通過するとラジオ沖縄93.1/86.3MHzが聞こえて、偏西風に乗る帰り高度33000ftだともう少し本土寄りまで聞こえます。翼がリフレクタになって励起した電磁波を二次放射してくれるお陰で1時間弱沖縄局のBCLを楽しめます。これを雪に半分埋まり冬眠中だったJA9の御大にお伝えしたら突如覚醒しデータを寄越せとのご命令と以下のご教授を頂きました。「同心円ひとメモリ100km、一番外側が400kmで高度32000フィートは9600m。受信アンテナ高さをメートルhで表して電波の到達範囲は次の式で計算される $d=4.12\sqrt{h}$ 、計算結果は404km、ほぼ同心円の400kmあたりに位置する。聞こえても無理はない。違和感がない。1級陸上無線技術士なめんなよ。」(図1) 覚醒させてしまった原因は30年前の4月会報に寄せたエイプリルフール記事でした。確かに昔のこと程覚えている(図2)。



図1 空の上のBCL

JA9CZJ 松盛 裕吉 航空機の大型化と共振
 飛行船の時代にツェッペリンアンテナが活躍した事はご案内のとおりです。このアンテナは全長が1/2波長。アンテナの中央部でなく端から給電し、その部分が高インピーダンス即ち電圧給電となり、高い絶縁強度を必要とします。ところで現代の航空機の代表であるジャンボジェット機は全長が75mほどあり、これはアマチュアの3.8メガ帯と一致します。ここに目をつけたハムがいた。そうです、航空機を共振体に見立てて近くの飛行場にジャンボが離着陸する頃を見計らって電波を出すと飛ばないはずの真っ昼間にQRP 0.1Wでも全国と59でコンタクトできたのです。しかし、だんだんそれで満足できなくなるのが人間の弱さ。国内では満足できずやがて真っ昼間からDXをと考えるようになったのです。10W出せば確かに航空機の高度によっては東南アジアあたりまで出て

QRP 96年4月号 (8)

図2 JA9CZJ 松盛さんの1996年のエイプリルフール記事「航空機の大型化と共振」



図3 位置関係

(編集部注) エイプリルフール記事は、エイプリルフールの風習を考慮してお読みください。

1. はじめに

2025年6月からネット QRP 懇親会を担当しておりますが、私が担当の6回目を1月10日(土)に、7回目を2月15日(日)に開催しましたので報告します。

原則として毎月第2土曜日(ハムフェア、全国集会の月は開催しない予定。都合により変更あり)の15~18時としており、懇親会の内容は「発表」、「情報提供」、「無線機の自作等の相談」等としております。土曜日のご都合が良くない方がいらっしゃるようなので日曜日も混ぜようと思います。製作の話題が多いですが、運用の話題も歓迎いたします。

2. 1月度の報告

1月10日(土)15~18時に開催し、18名(非会員1名を含む)が参加しました(写真1)。発表、情報提供案件を表1に示します。

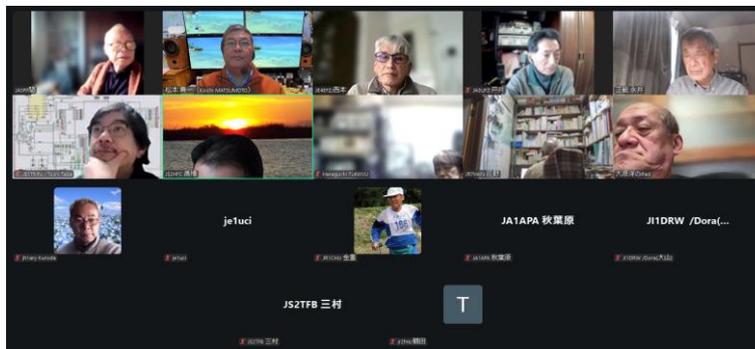


写真1 1月度のある時刻における参加者

表1 1月度の発表、情報提供案件(発表順)

JA0UFZ 戸井さん	Si5351A を直交ミキサのローカル発振器で使う場合の下限について
7L4WVU 原口さん	7メガ FT8 の 0.5W と 5W でどのくらい差があるのか これまでの POTA 移動の交信データまとめ
JS2HFC 高橋さん	貴田無線設計の 7MHz 帯 CW トランシーバー作製
JE1TMN 多田さん	ああ EleKey に廻りこみが!!

今回は無線機の自作等の相談として、7MHz CW 送信機 QP-7C と 7MHz ダイレクトコンバージョン受信機 DC40 の調整方法の相談がありました。これらのキットは JL1KRA 中島さん(当クラブ会員でもあります)が頒布されているもので、詳細は以下のウェブサイトをご覧ください。

QP-7C : <https://jl1kra.sakura.ne.jp/QP-7C.html>

DC40 : <https://jl1kra.sakura.ne.jp/DC40.html>

3. 2月度の報告

2月15日(日) 15~18時に開催し、13名が参加しました(写真2)。発表、情報提供案件を表2に示します。



写真2 2月度のある時刻における参加者

表2 2月度の発表、情報提供案件(発表順)

JG1CCL 内田さん	近況開発進捗状況発表 1) RS-501Walkie-Talkie SSB (50MHz SSB 100mW) 2) LED Walkie-Talkie 2R0 (中高生向け光通信) 3) LoRa 検証中
JE1TMN 多田さん	CW Decoder を作ってみました
JA0UFZ 戸井さん	Si5351A を色々なモードで動かすドライバソフト作成
JS2HFC 高橋さん	電源作りました (LM350T 使用)
JR2FNK 鶴田さん	BK4802P を用いた送受信機の製作 (144/430MHz FM)

4. おわりに

懇親会の申し込み方法ですが、日が近づきましたら会員のみなさま宛にメールで案内を出しますので、メールでお申し込みください。追ってZoom ミーティングに招待します。

懇親会参加の敷居を低くしたいです。近年入会会員も含め、全国の会員のみなさまのご参加をお待ちしております。無理に振ったりしないなど、安心して参加いただけるような運営に努めたいと思います。

【次回以後の予定】(変わることがあります)

3月14日(土)

4月11日(土)

5月9日(土)

【新入会員紹介】

※会員限定※

【会員の近況報告】

※会員限定※

【お知らせ】JARL QRP CLUB 役員選挙公報

※会員限定※

【お知らせ】2025 年度役員会（冬）議事録

(JARL QRP CLUB 個人情報保護指針 (2026 年 1 月 12 日制定) を含む)

※会員限定※

(JARL QRP CLUB 個人情報保護指針は当クラブウェブサイトに掲載しています)

【お知らせ】JARL QRP CLUB からのお知らせ

#650 JN3DMJ 松本 頁一

※一部会員限定※

◆当クラブに関する連絡先のメールアドレスは以下のとおりです。

qtc2@jaqrp.net	当クラブの活動全般についてのご質問、ご要望、ご意見。 このメールは役員と監査役に届きます。 メールには役員から必ずお返事を出します。
contest2@jaqrp.net	コンテストについての問い合わせ先はコンテスト担当へ。 (ログの提出先メールアドレスは異なりますのでご注意ください。)
kaiin- info2@jaqrp.net	会員情報 (メールアドレス等) の変更はこちらへ。 事務局長などに届きます。(ただし、ご意見等がある場合や、退会連絡は qtc2@jaqrp.net にお願ひします。)
award2@jaqrp.net	アワード関連についての問い合わせ先はアワード担当へ。
qrpnews2@jaqrp.net	会報への投稿などについては編集部へ。

紙の会報については、PDF でもよい方が 300 名以上になりました。ご協力いただき厚く御礼申し上げます。

当クラブ創立 70 周年記念式典の日程が 2026 年 11 月 7 日（土）に、場所が東京・渋谷駅付近に決まりました。プログラムは検討中ですが、会員のみなさまの多数の参加をお待ちしております（参加申し込みは後日となります）。

次回会報はできれば 5 月に発行したいと考えておりますので、会員のみなさま投稿をお待ちしております（締切：4 月 20 日）。運用記事も歓迎します。「会員の近況報告」は随時受け付けております。気軽に書いていただければと思います。写真の掲載も歓迎します（写真とタイトルだけでも OK）。

至らない点もあるかと存じますが、引き続きよろしく願いいたします。

JARL QRP CLUB 会報 vol.68-07-Public
公開版

発行 2026 年 3 月 1 日
発行人 JR1QJO 矢部 伊知郎
編集人 JN3DMJ 松本 貢一
発行所 JARL QRP CLUB
電子メール grpnews2@jaqrp.net

Copyright (C) 2026 by the JARL QRP CLUB